

# 歴史的文化遺産を活かした まちづくり

長野県長野市松代町  
NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会





長野駅からバスで30分ほどの長野市松代町を訪れる。松代町は善光寺盆地の南端にある人口約1万6千人の地域で、真田十万石の城下町の面影が町の至るところに残されている。幕末期に開国を唱えた佐久間象山や、日本初の近代劇女優の松井須磨子などの人材も輩出している。また、第二次大戦の末期に掘られた松代大本営地下壕といった貴重な戦争遺跡を残す一面もある。こうした貴重な歴史と文化を活かしたまちづくりに取り組む「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」（理事長・香山篤美さん）を取材した。

今回訪れた1月7日は「七草」の日。同会が主催するイベント「年の初めの七福神めぐり」をして、寺町商家で七草がゆ軽食を食べよう！が行われた。集合場所は長野電鉄の廃線跡に残された旧松代駅舎。松代に点在する寺社には七福神が置かれ、七福神を巡ると同時に松代の街並みの全体を見ることもできる、全長5kmのコースだ。

ガイドを務める山岸さんの先導でいざ出発。初めに訪れた七福神は「荒神堂毘沙門天」。近くの川中島で戦った武田信玄も上杉謙信も祀っていた武神だ。また、境内にある子育て観音は、昔、千曲川の水害でこの地に流れついた神様を村人が大切に祀ったものだと言われている。参加者は色紙を手に訪れる七福神の御朱印を押していく。途中のお堂には参拝者のために飴が置かれ、どこかに松代の町の温もりを感じる。荷車に合わせた幅の路地を歩き、途中で醸造のお店や、松代出身の偉人が由来する旧宅があったりと見どころが尽きない。松代の町の路地や区割りは城下町の頃から変わっていないそうだ。

町の南部の方に歩くと「歴道」として整備された一角の水路に鯉が悠々と泳いでいる。松代の街並みの特徴として、武家屋敷に泉水路が整備され、周辺の山を借景にした庭園が多くのお宅にある。泉水は防火の役割と、鯉を食することでたんぱく質の栄養補給の役割もあったそうだ。

七福神巡りの最後は大林寺にある福祿寿。この日は、お寺



のご好意で扉を開けて頂き、福祿寿のご尊体に一人ずつお参りをする。ガイドの山岸さんは「何年もガイドをしているけど、福祿寿の扉を開けていただいたのははじめてのこと」と笑顔で参加者に伝える。

イベントの最後に訪れた寺町商家。昭和初期まで質屋を営んでいた邸宅は、平成27年に松代地区の新たな交流拠点として整備され、同会が運営している。庭園を前にした食事処で無病息災を願い参加者一同で七草がゆを食べる。この日は朝から曇天が続いていたが、七草がゆを食べる頃には光が差し込み、新年気持ちが改まる。

七福神巡りに2回目の参加という参加者の山崎さんは「以前から松代の街並みに興味があり、庭園を巡るイベントにも参加したことがある。街並みについて勉強の機会があることが嬉しい。息子や孫にも松代の魅力を伝えたい」という。また、参加者の井原さんは「観光で歩いたのは今回がはじめて。かねてより松代は素敵な街並みだと感じていた。ガイドの解説がわかりやすく、長時間歩いて魅力を感じることができた」と話す。

七福神巡りのあと、町の中心部にある同会の拠点「松代まち歩きセンター」を訪ねる。地元の方が次々と訪れ様々な情報交換をしており、観光の機能に加えてまちづくりの拠点にもなっているように伺えた。ここで同会理事長の香山さんと事務局長の三田さんにお話を伺った。

なぜ松代には歴史的文化遺産がここまで残されているのだろうか。松代町は昭和41年の長野市との合併から周辺地域となり、歴史と文化に恵まれた地域資源を活かす機会がなく寂れた時期があった。住んでいる人々が地元の素晴らしさに気づいていない面もあった。昭和50年代から徐々に住民主体のまちづくりの動きがはじまり、平成12年、長野市行政が住民の参画を得て中心市街地活性化基本計画で「信州松代まるごと博物館構想」を策定し、①城下町らしい町並みづくり、②観光商業



の推進、③おもてなしの心の推進、④人にやさしい道づくりの4本の柱を立て中心市街地活性化を図る30事業を決定した。でも実際に誰が実行するのか。松代の住民参加で進めようと、平成13年に住民有志100名が賛同し「夢空間松代のまちと心を育てる会」が発足した(翌年にNPO法人化)。

同会の主な活動として、「国の登録有形文化財の登録推進活動」「まち歩きイベントの開催」「視察研修の受け入れ」「松代学講座の開催」「松代の子どものための学習を支援するプロジェクトの推進」「まち歩きルートの開発とガイドブックの発刊」などに取り組んでいる。

こうした多岐に渡る活動の成果について、香山さんは「かつて松代はもうだめだと言われていた。合併しなければ良かったという意識が当時は強かった。けれども、私たちが掘り起こして、松代にはこんなにお宝があるよ、と周囲に広めることで、地元の人々の意識が転換して、誇りが出てきたと思う。今では松代は頑張ってるね、と言ってもらえるようになった」と手ごたえを感じている。

松代のまちづくりをこれからの世代にどうつないでいくか。同会では、地域の子どもたちに松代の魅力を知ってもらうため、学校の総合的な探求学習の時間を地域で応援する取り組みを令和5年度からはじめたところだ。「ふるさと松代再発見プロジェクト」では子どもたちと一緒にまち歩きツアーを行ったり、子どもたちが松代の歴史を学ぶ冊子を作っている。「松代が自分のふるさととして誇りに思えるようになれば」と同会では、子どもや若者視点からの新しい松代のまちづくりにも期待する。

【連絡先】 NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会  
長野市松代町松代 577 松代まち歩きセンター内  
TEL : 026-278-1277  
メール : yumekuukan-matushiro@topaz.ocn.ne.jp